Sanwa STANDARD SIGN
サンワ規格サイン

突出しサイン　アルミフレーム　2011.8

受注生産品

61-95、69-51

ビル用サイン〈特注大型〉

取扱説明書

このたびは当社の製品をご使用いただき、誠にありがとうございます。

・この取扱説明書は屋外広告業の届出があり、労働安全衛生管理上の知識を有する専門工事施工従事者を対象としています。
・正しく安全に取り付けして頂き、また安心してご使用頂くためにこの取扱説明書をご熟読の上、手順に従い施工を行ってください。
・注意事項を守らずに施工された場合は責任を負いかねますのでよくご理解の上、施工管理をお願いします。
・この説明書は、安全維持とメンテナンスのために必要です。大切に保管してください。

説 明 内 容

page

1 守っていただきたい注意点 …… 1
2 製品の概要 …… 2
3 施工について …… 3
4 取り付け高さについて …… 5
5 結線について …… 6
6 シーリング工事について …… 7
7 メンテナンスについて …… 8
8 フレームバリエーション …… 9

1　守っていただきたい注意点

警告表示

⚠ 警告	重大な事故を起こす可能性があります。
⚠ 注意	製品の破損や、けがをする可能性があります。
⃠ 禁止	気をつけていただきたい禁止内容です。
❗ 確認	気をつけていただきたい注意事項です。

❗ 確認　法令で定められた各種の手続き

❗ 確認　現場周辺の交通量の確認と安全確保

❗ 確認　各製品の取付け高さは、表示の高さを守ってご使用ください。
高さを超えますと、強風時に看板・面板の破損、脱落の原因になります。

❗ 確認　電装品は 100V 高力率タイプを使用しています。200V では使用できません。
200V の場合は電装品の交換が必要です。
当地の周波数（Hz）と安定器の周波数が合っているか確認してください。
漏電による事故を防ぐため、漏電ブレーカーの設置と防水コンセントを使用してください。

⚠ 注意　保管・運搬時には看板本体の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。
変形や破損の原因となります。

⚠ 注意　換気機能が十分に果たせないため、高温・多湿になる場所や直射日光・風雨にさらされる場所での梱包状態の保管はしないでください。結露の発生や雨水の浸入によるサビ、漏電の原因となります。

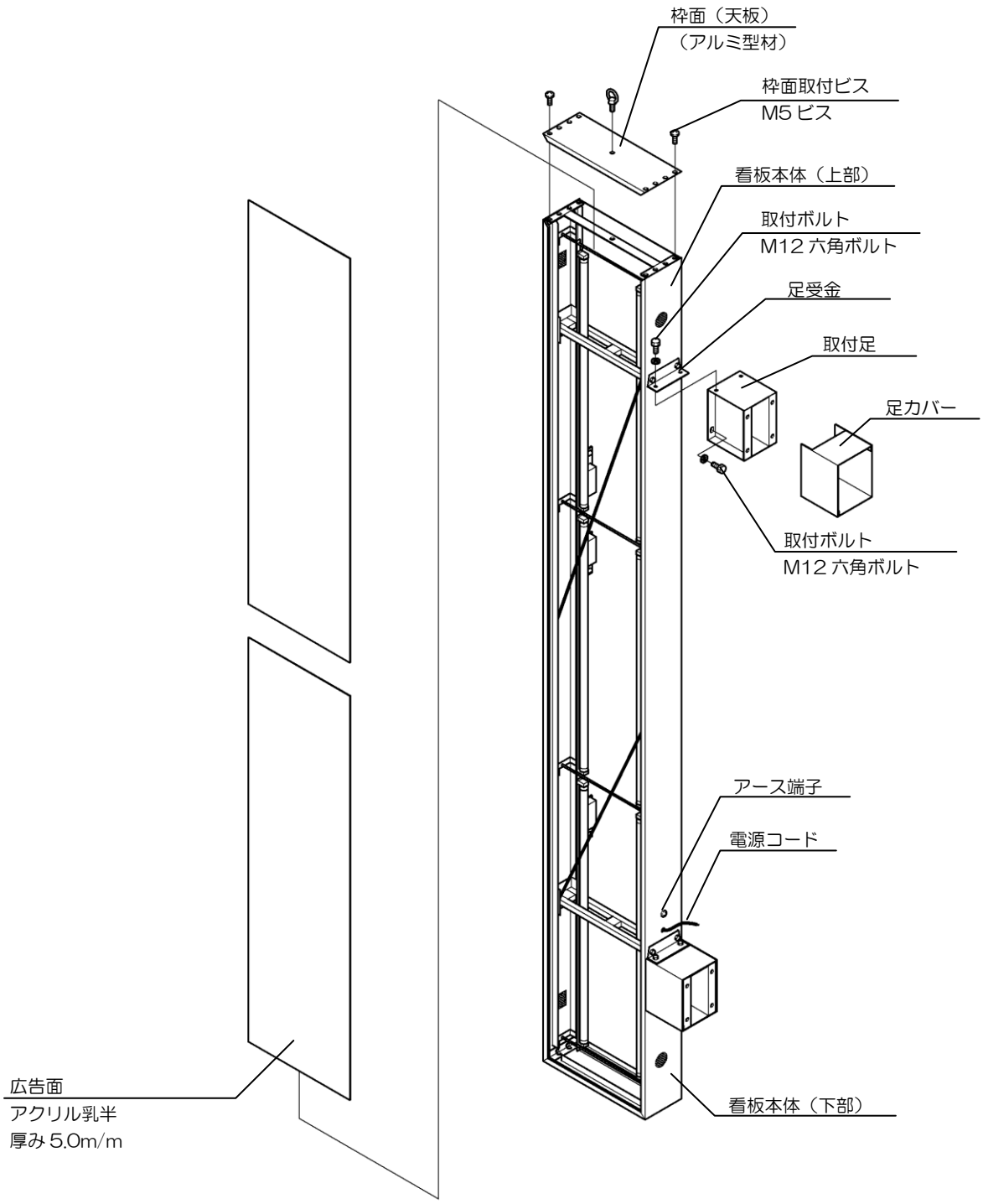
⚠ 警告　看板設置部の強度の確認を行ってください。
（設置部の強度不足は、看板本体の破損・脱落の原因となります。）

⚠ 警告　仕様と異なる使用方法はしないでください。
（各看板は、使用条件を限定し、それに基づいて設計・製作しています。
使用条件が異なると安全性の再検討が必要です。）

いずれも安全に関する重要な内容です、必ず守ってください。

2　製品の概要

■　各部の名称



■　電装材一覧

- 電圧：100V
- 周波数：50Hz / 60Hz（地域別 2 種類）
- ホルダー：※三和式防水電装、高力率（736 角アルミのみ低力率一般型ホルダー）、グロースタート方式
- 蛍光灯：昼光色、グロースタート方式
- グロー球：FG-4P、FG-5P
- 電源コード：器具用小判型コード（VCTFK・プラグ付）

※三和式防水電装（ランプのソケット部分、安定器、グロー球を防湿仕様とする。）

3　施工について

⚠ 警告　躯体構造に適したアンカーボルトを使用してください。
・躯体構造に適さないアンカーボルトを使用した場合、看板本体の落下などが起こり、死亡や重大な事故につながります。

⚠ 警告　アンカーボルトの再使用は絶対にしないでください。
・今まで使用していたアンカーボルトは経年変化により腐食や劣化が生じている場合が多くあります。躯体側の強度と共に安全性の立証ができません。必ず新規に施工してください。

⚠ 警告　取付足と看板本体を一体に組んで取り付けしないでください。
・施工に支障が生じ、不確実な施工となり、看板本体の脱落の原因になります。

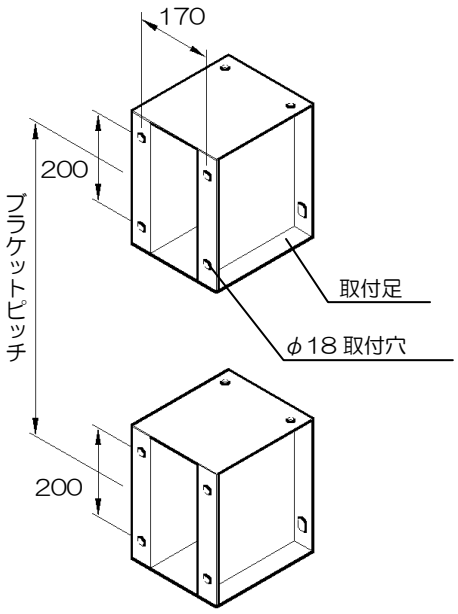
〈作業手順〉

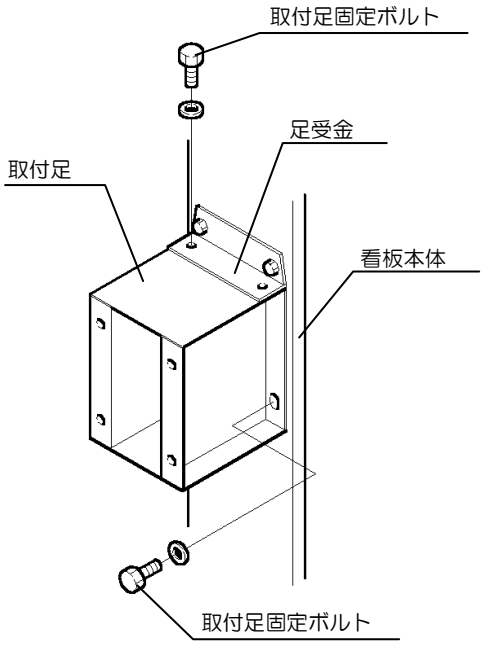
1. 取付足は、上部より取り付けします。
   墨出しを行い、墨に合わせて先に 1 ヶ所仮止めし、水平・垂直を確認して他の箇所を止めてください。
   傾きがないか確認し、全てをしっかりと締めつけます。

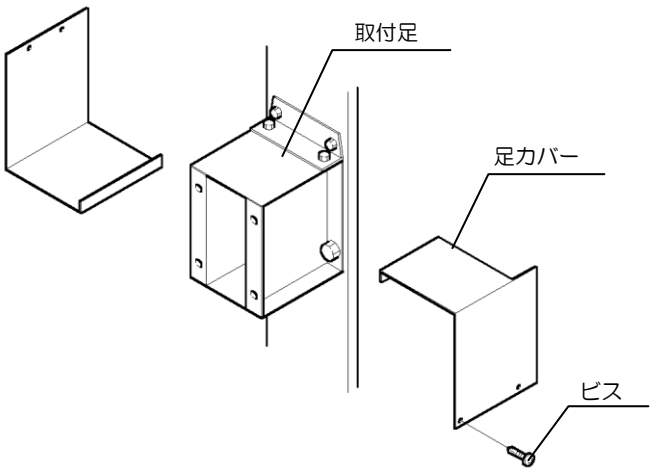
2. 下側の取付足も同様に取り付けます。

3. 看板本体の取り付けを行います。先に取り付けた取付足に、足受金を看板本体にセットした状態でのせおき式に取り付け、付属の取付足固定ボルト（M12×40 六角ボルト）にて取り付けてください。

4. 足カバーをセットします。





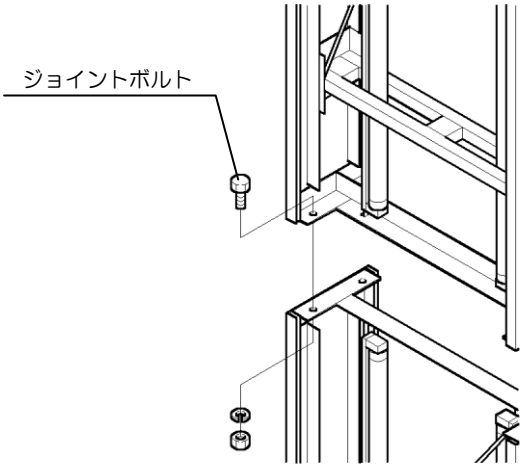


■ ［フレームの連結］

フレームが長尺の場合、連結の作業が必要となります。

本体枠の片側にセットされているジョイントボルト（M12×40 六角ボルト・ナット）を使用し、

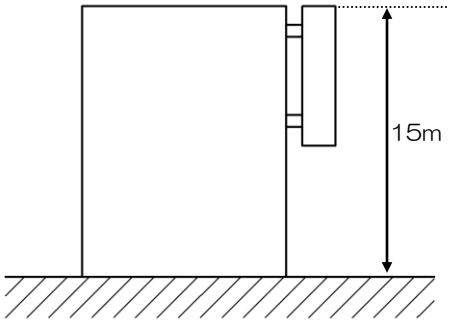
フレームの連結作業を行ってください。



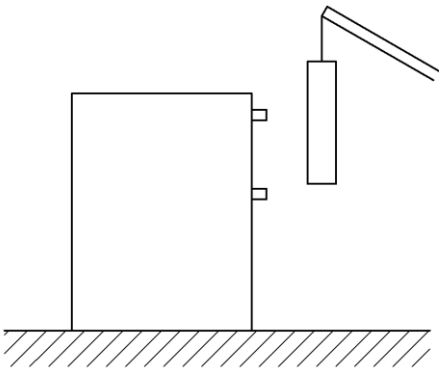
4　取り付け高さについて

看板の取り付け高さは、看板の上端まで 15m 以内に収めてください。
（看板本体サイズが高さ 4m 以下は、10m 以内）

■　袖式

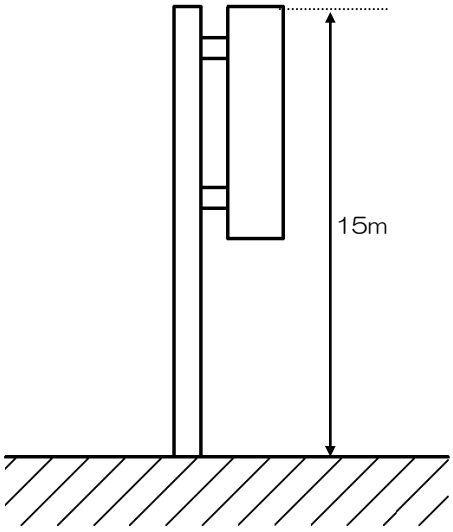


看板本体サイズが高さ 4m を超える場合、
確認申請が必要になります。

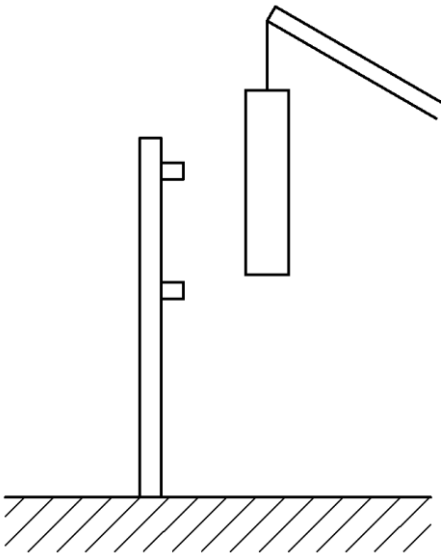


看板取り付けの際は、先に取り付け足を
建物側に固定してから取り付けてください。

■　自立式



支柱からの工事の場合、地盤面からの高さが
4m を超える場合、確認申請が必要になります。



看板取り付けの際は、先に取り付け足を
支柱側に固定してから取り付けてください。

5　結線について

⚠ 警告　結線工事は電気工事士の資格を持った技術者により、電気設備基準に準拠して行ってください。
フレームから電線を出す場合、ゴムブッシングを使用し、電線の保護を行ってください。
電線にキズをつけたり挟みこんだ状態で使用すると、漏電・火災の原因となります。

❗ 確認　看板への給電は仕様書に基づき、専用の漏電ブレーカーを設置してください。
看板側のトラブルが原因で、看板以外の電気製品に被害を与える場合があります。
また、火災の原因にもなります。

❗ 確認　アースは必ず設置してください。
結線終了後は必ず点灯・漏電のチェックを行ってください。

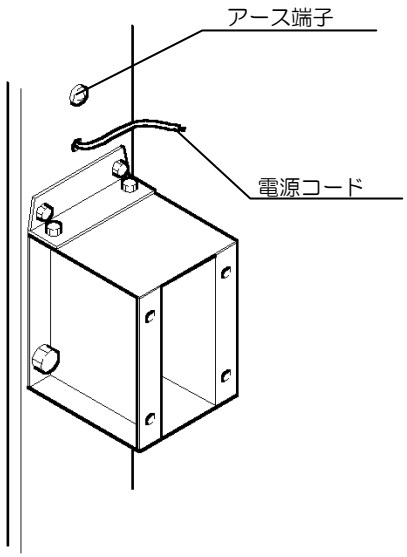
〈作業手順〉

1. 看板本体がジョイント式の場合、一次側電源が OFF になっていることを確認し、看板内部の結線を完了後に一次側電源の結線を行います。

2. 一次側電源を ON にし、点灯試験を行います。点灯しない場合は、必ず一次側電源を OFF にし、再度結線がされているか確認してください。

3. 電源コードが広告面（アクリル）に接しないよう適所ごとに固定してください。

4. フレーム側面にあるアース端子接続用 M4 タッピングビス（ステンレス）を使用してアースをとってください。

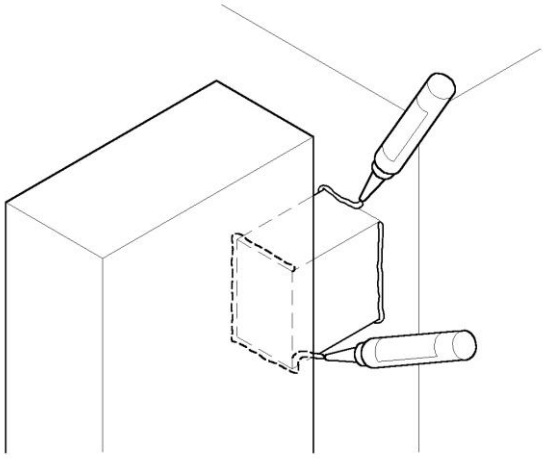


6　シーリング工事について

〈作業手順〉

雨水浸入防止のため、足カバーの看板本体および躯体との取り合い部分はシーリングを行ってください。

⚠ **注意**　シーリングが不十分な場合、取り付け足内部に雨水が浸入して内部を腐食させます。



7 メンテナンスについて

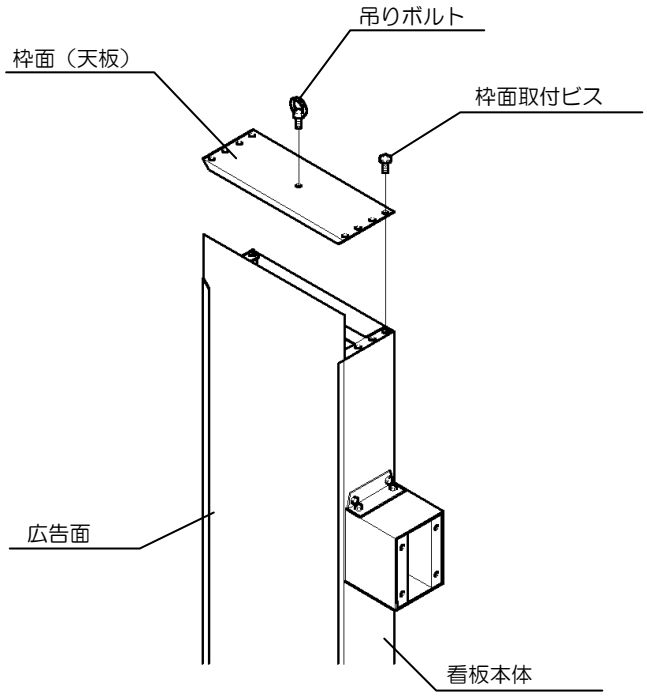
蛍光灯の交換について

1. 枠面（天板）を固定している枠面取付ビスと吊りボルトを外し、枠面（天板）を取り外してください。
2. 広告面を上部にスライドさせ、取り外し、グロー球の交換を行います。
3. 完了後は、広告面、枠面（天板）をセットして、枠面取付ビスでしっかりと固定してください。

警告 電源を切り、作業を行ってください。

警告 広告面の落下には、十分に気を付けてください。

確認 蛍光灯は昼光色のランプをお使いください。



清掃について

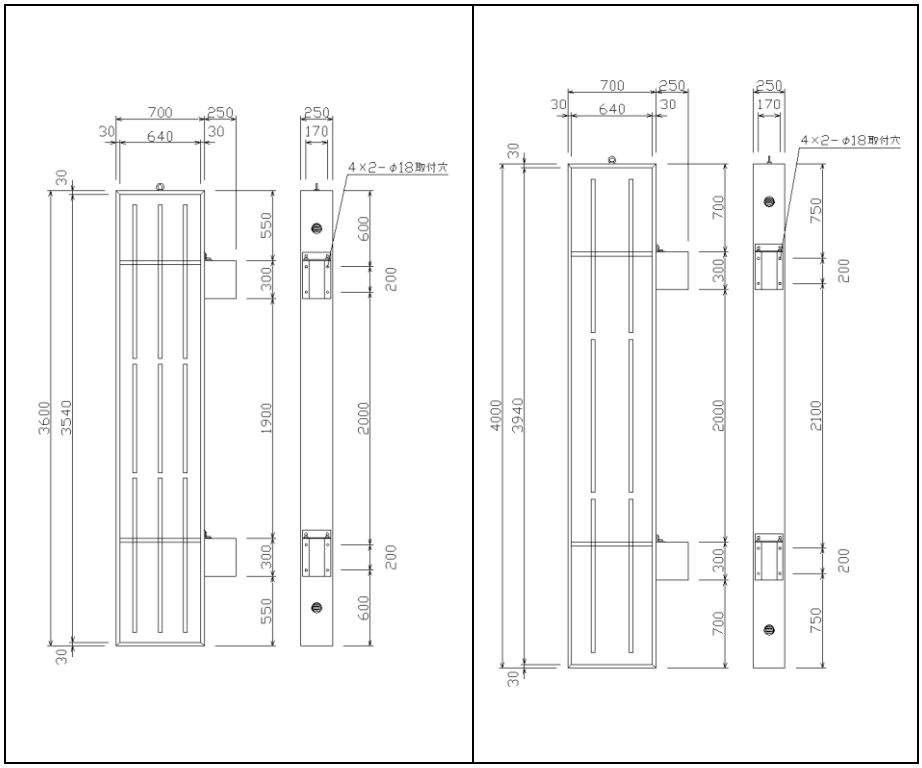
薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布またはスポンジにて、表面の汚れを拭きとってください。

禁止 直接水をかけないでください。漏電の原因となります。

禁止 シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

確認 ユニット内部を清掃する場合は必ず電源を切って作業してください。

8　フレームバリエーション



品番：61-95
品名：（標準品）736 角アルミ

品番：69-51
品名：特注大型 740

広告面	アクリル 5.0 乳半色平板
フレーム	アルミ押出型材
表面処理	アルマイト クリヤー仕上
電装(低力率)	FL40W×6 FL32W×3
原稿サイズ	W640×H3,540
面板サイズ	W693×H3,587
重量	107.5Kg

広告面	アクリル 5.0 乳半色平板
フレーム	アルミ押出型材
表面処理	アルマイト クリヤー仕上
電装(高力率)	FL40W×6
原稿サイズ	W640×H3,940
面板サイズ	W693×H3,987
重量	93.8Kg

●製品は改良のため、予告なしに仕様変更する場合がございます。予めご了承下さい。

●取扱店

●製造元

三和サインワークス株式会社

本　　社　大阪市北区梅田３−１−３（ノースゲートビルディング１６Ｆ）
〒530-0001　TEL（06）6453-3171㈹　FAX（06）6453-3179㈹

大 阪 支 店　大阪市北区梅田３−１−３（ノースゲートビルディング１６Ｆ）
〒530-0001　TEL（06）6453-3002㈹　FAX（06）6453-3022㈹

東 京 支 店　東京都港区港南２丁目 15-1（品川インターシティＡ棟 30Ｆ）
〒108-6030　TEL（03）5783-3001㈹　FAX（03）5783-3010㈹

福 岡 営 業 所　福岡市博多区西月隈３丁目 2-13
〒812-0857　TEL（092）472-7277㈹　FAX（092）472-7278㈹

京 都 工 場　京都府綴喜郡宇治田原町大字岩山小字釜井谷 1-44
〒610-0261　TEL（0774）99-7702㈹　FAX（0774）99-7712㈹

埼 玉 工 場　埼玉県入間市宮寺字宮ノ台 4030（武蔵工場団地内）
〒358-0014　TEL（04）2934-5311㈹　FAX（04）2934-5313㈹

電材営業部 東京　東京都港区港南２丁目 15-1（品川インターシティＡ棟 30Ｆ）
〒108-6030　TEL（03）5783-3009㈹　FAX（03）5783-3010㈹

電材営業部 大阪　大阪市北区梅田３−１−３（ノースゲートビルディング１６Ｆ）
〒530-0001　TEL（06）6453-3152㈹　FAX（06）6453-3022㈹

電材つくば工場　茨城県かすみがうら市加茂 5289-1
〒300-0198　TEL（029）828-1615㈹　FAX（029）828-1289㈹

ホームページアドレス
http://www.sanwa-signworks.co.jp/

メールアドレス
info@sanwa-signworks.co.jp

2011.8